ローテーションモデル

専攻医は２年~２年９ヶ月間を基幹施設①旭川医科大学病院で研修する。２年目あるいは３年目に９連携施設、パターン A、パターン B、パターン C より選択する。

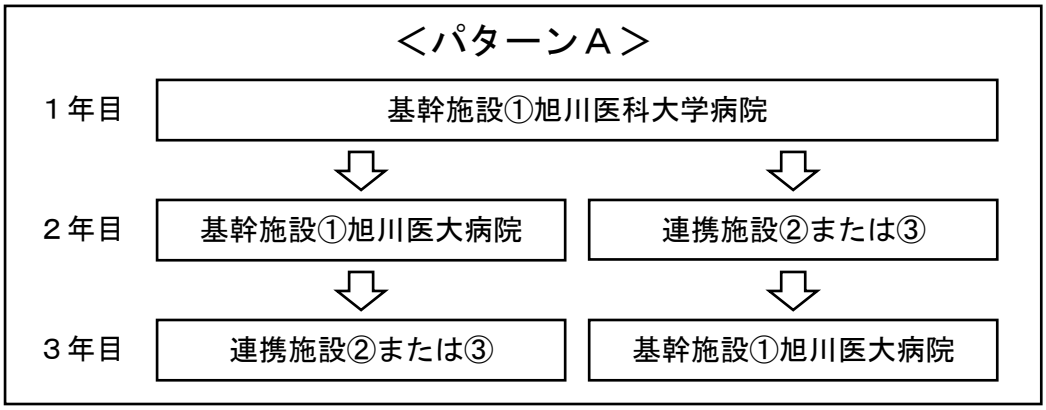
＜パターン A＞

パターン A の連携施設群は以下の２病院である。

②名寄市立総合病院

③北海道立緑ヶ丘病院

専攻医は希望する病院を選択でき、原則１年間の研修を行う。



専攻医は、道北地域の基幹総合病院精神科、または道東地域の基幹精神科病院で、第一線の地域精神科医療に加え、デイケア、訪問診療、認知症デイケアなどを通して、多職種チーム医療を学ぶ。

＜パターン B＞

パターン B の連携施設群は以下の病院である。

専攻医は④～⑥の精神科病院、⑦総合病院から希望する病院を選択でき、原則３ヶ月間の研修を行う。

④相川記念病院

⑤江別すずらん病院

⑥旭川圭泉会病院

⑦市立旭川病院

＜パターンＢ＞

１年目	基幹施設①旭川医科大学病院	
⇩		
２年目	基幹施設①旭川医科大学病院	
⇩		
３年目	連携施設④～⑦(3 ヶ月間)	基幹施設①(9 ヶ月間)

専攻医は基幹施設で、各症例を深く掘り下げた研修を通して重点的に急性期医療の実際を学びながら、豊富な学術的リソースに触れリサーチマインドを修得する。連携施設では主に旭川地域における地域連携について学ぶ。

＜パターン C＞
パターン C の連携施設群は以下の大学病院、ナショナルセンター病院である。
専攻医は希望する病院を選択でき、原則 6 ヶ月間の研修を行う。
⑧九州大学病院
⑨島根大学病院
⑩国立精神・神経医療研究センター病院

＜パターンＣ＞

１年目	基幹施設①旭川医科大学病院	
⇩		
２年目	基幹施設①旭川医科大学病院	
⇩		
３年目	連携施設⑧⑨⑩(6 ヶ月間)	基幹施設①(6 ヶ月間)

専攻医は大学病院やナショナルセンター病院で、学術的な医療を継続して学ぶことができる。九州大学病院では、1000 床を超す大規模総合病院での精神科医療の実際をはじめ、基幹施設ではカバーできないサブスペシャリ

ティ領域の精神医学を学ぶ。島根大学病院では、超高齢化地域における特定機能病院としての精神科医療の実際を学ぶ。国立精神・神経医療研究センター病院は、医療観察法病棟や認知行動療法センターを有しており、全国有数の特化領域専門家による高度な指導を受けられる。